

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

今月、矢継ぎ早に、肝静脈未流入部に達する腫瘍栓を伴う右腎癌2例に腎摘除術を施行しました。年甲斐もなく手術に興奮している小生がおり、「肝静脈下腫瘍栓の手術は、肝右葉の左側完全脱転操作を必要としない」という主張を再確認しました。そんなわけで、今月号の編集後記は交見室のような内容になりましたことをご容赦ください。

今回の手術のポイントは、①術前、腫瘍栓の中枢側に経静脈的下大静脈フィルターを挿入・設置、②超音波検査で腫瘍栓先端の状態を診断し milking down 操作可能性の判断、の2点です。術式の概容は以下のとおりです。

左側に延長した右肋骨弓下皮膚切開で腹腔内に到達、下大静脈と腹部大動脈を展開します。下大静脈の前・側面の脂肪線維組織を剥離・除去後、右精巣静脈と結紮・切断します。

次に腎静脈を同定、この周囲を展開すると、腎静脈および下大静脈内に腫瘍栓が触知できます。腎静脈流入部より末梢の下大静脈および左腎静脈において、血流遮断に備え血管テープを通して保持します。腎莖部または下大静脈の左方の腎静脈下面で右腎動脈の同定・処理を試みますが、困難な場合は、腎周囲を腎固有筋膜の開放することなく剥離し、腎を脱転、腎動脈を結紮・切断します。なお、下大静脈に流入する腰静脈は可及的に結紮・切断します。

次に肝後面の手術操作になります。下大静脈前面を覆う肝尾状葉を腹側に挙上しながら複数の短肝静脈を丁寧に結紮・切断すると肝尾状葉は圧排され、肝後面の下大静脈前面と両側面を展開します。この過程で、短肝静脈の処理とともに上副腎静脈が結紮・切断され

ていることが重要です。腫瘍栓の中枢端を触知できれば、その中枢側下大静脈後面に術者の示指は容易に挿入できるので、示指と拇指とで静脈外で腫瘍栓先端を把持し、牛の乳搾りの要領で腫瘍栓を可及的に静脈末梢に引き下げます (milking down)。

下大静脈末梢部と左腎静脈に引き続き、指により把持した部位の中枢側の大静脈血流を血管鉗子で遮断します。下大静脈前面に縦切開を加え、腫瘍栓の状態を観察、腫瘍栓の付着が対側にも及んでいる場合は、下大静脈の部位摘除術 (症例1)、腫瘍栓が摘出可能な状態であれば下大静脈右側壁の腫瘍栓付着部のカフ切除術 (症例2)、の適応とします。手術前に挿入・設置された下大静脈フィルターは、手術操作時の腫瘍栓の移動・飛散のリスクを減少させるものと信じています。管の開放部を連続縫合閉鎖し、手術を終えます。

肝静脈流入部より末梢部の下大静脈部分切除においては、通常、血流再建の必要はありません。また、手術前に挿入・設置された下大静脈フィルターは、手術操作時の腫瘍栓の移動・飛散のリスクを著しく減少させるものと信じています。症例1は77歳男性、手術時間：6時間49分、出血量：2,700mg、摘出重量：570gで、症例2は56歳女性、手術時間：4時間46分、出血量：1,995mg、摘出重量：561gでした。

腫瘍栓を伴う腎癌手術症例は比較的稀で、肝脱転操作に精通している泌尿器医は多くないと思います。肝臓外科の支援なしにcT3腎癌の手術を施行しなければならない場合に、参考になるものと思いますが、読者の皆様のご意見はいかがでしょうか。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第64巻 第5号) (通巻763号)
2010年4月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)

2010 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 41,360 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 53,800 円
増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金 原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail : rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載された著作物の複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
・ **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。